



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

緊急企画 看護職の夜勤負担に関する調査研究報告会 看護職になぜ勤務間インターバルが必要か？ 看護関係者250人が参集

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員73万人）は、9月13日（木）にステーションカンファレンス東京（東京都千代田区）において、「**看護職の夜勤負担に関する調査研究報告会**」を開催します。

「働き方改革関連法」の成立を受け、勤務と勤務の間に一定の間隔をあける**勤務間インターバル確保**が努力義務化されます。勤務間インターバルは看護職にとってどのような意味を持つのか。本報告会では、本会など3団体が合同プロジェクトとして実施した看護職の夜勤・交代制勤務に関する調査研究の知見を踏まえ、働き方改革を通じた持続可能な看護職の夜勤・交代制勤務の在り方を考えます。

また報告会の最後には、会長の福井トシ子が本調査を受けた本会の提言を発表する予定です。

看護界が目指す働き方改革と対応が注目される勤務間インターバルについて、本報告会をぜひご取材をいただき貴媒体にてご紹介をお願いいたします。別紙の申込用紙のFAX、またはEメールでお申し込みください。

看護職の夜勤負担に関する調査研究報告会

【日時】2018年9月13日（木）14:00～16:00

【会場】ステーションカンファレンス東京 サピアホール

（東京都千代田区丸の内1-7-12）※東京駅八重洲口北口より徒歩2分

【プログラム】

- 「インターバル制度の視点」 学習院大学 名誉教授 今野浩一郎氏
- 「看護職の夜勤交代制の負担軽減に向けた日本看護協会の取り組み」
日本看護協会 労働政策部看護労働課 看護労働・確保対策担当専門職 奥村元子
- 調査報告「安全、健康、生活を念頭にいた看護師の1ヵ月72時間夜勤規制に関する研究」
公益財団法人大原記念労働科学研究所 上席主任研究員 佐々木司氏
- 調査報告「交代制勤務看護師の勤務間インターバルと疲労回復に関する研究」
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
産業疫学研究グループ部長 高橋正也氏
- 会長提言 日本看護協会 会長 福井トシ子

News Release 取材のお願い

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2018年9月5日

日本看護協会 広報部 宛

(FAX:03-5778-8478/Eメール:koho@nurse.or.jp)

☆9月10日(月)12:00までにご連絡をお願いします。

☆満席の場合、ご参加をお断りする場合があります。その際は別途、ご連絡させていただきます。

看護職の夜勤負担に関する調査研究報告会

【日時】2018年9月13日(木)14:00~16:00(開場13:30)

【会場】ステーションコンファレンス東京

サピアホール(千代田区丸の内1-7-12)

※東京駅八重洲口北口より徒歩2分



媒体名	
御所属	
お名前	
TEL	
Eメール※	
撮影有無	<input type="checkbox"/> スチールカメラ 台 / <input type="checkbox"/> ムービーカメラ 台 <input type="checkbox"/> 撮影なし

※本会の「記者会見」と「ニュースリリース」は、Eメールでもご案内しております。今後、メールでの連絡をご希望の方は、Eメールをご記入ください。